

夏休みの  
自由研究にも  
ピッタリ！

このガイドブックはまだ未完成。  
展示を巡り、空欄の“謎”を埋めて  
ガイドブックを完成させよう。

# デスマスチルス のいた地球

～謎だらけの古代生物たち～

こうしき  
公式ガイドブック



# コンセプト

海から陸へ上がっていった生物がいる。

また海へと戻っていった生物もいる。

いろんな生き方があって、いろんな進化のかたちがある。

そのユニークな姿も、環境に適応し、

生きぬいていくためのものだったかもしれません。

でも、進化については

まだまだわからないことだらけ。

古代生物の謎に触れることで、きっと見えてくるものがある。

私たち人間にも関わる生物の進化について、

そしてその未来についても、

いっしょに考えてみませんか。



古代生物ファイル

01

謎レベル：★★★★☆

# ハイギョ

[プロトプラルス  
エチオピクス]

ハイギョの祖先は約【】年前に出現したと考えられている。

名前の通り、エラ呼吸だけでなく、魚なのに

【】呼吸をする。今からおよそ3億6000年前、ハイギョやシーラカンスの仲間が生活の場を、海から【】へと変えていったと考えられている。



古代生物ファイル

02

謎レベル：★★★★☆

# シーラカンス

わたしたち人間の歴史は700万年と言われており、

シーラカンスやハイギョが人を含む

四足（しそく）動物の祖先の

可能性が高いと考えられている。

シーラカンスはなんと【】年

もの間、体の形をほとんど変えずに生きている

長老のような魚で、【】とも呼ばれている。



**ヒント**

- ・イルカやクジラの先祖。
- ・主に陸で暮らしていた。
- ・水面で呼吸をしやすいように、  
鼻のあなが頭の前のほうについている。
- ・パネル「イルカ・クジラの進化」を見てみよう！

(C) 新村龍也・足寄動物化石博物館

# アロデスマス



【 】の祖先で、  
およそ【 】万年前の生き物。  
首から上は【 】、首から下は  
【 】のような姿をしている。  
日本でも化石が見つかっている。

(C) 新村龍也・足寄動物化石博物館

# ペンギンモドキ



ペンギンにそっくりだが、  
【 】や【 】の仲間で、翼を使って  
上手に泳いでいたと考えられている。  
約【 】万年～【 】万年前にかけて、  
北太平洋に分布していた。【 】や  
【 】から化石が見つかっており、  
体長【 】mを越える巨大な種類もいたと  
考えられている。

(C) 新村龍也・足寄動物化石博物館

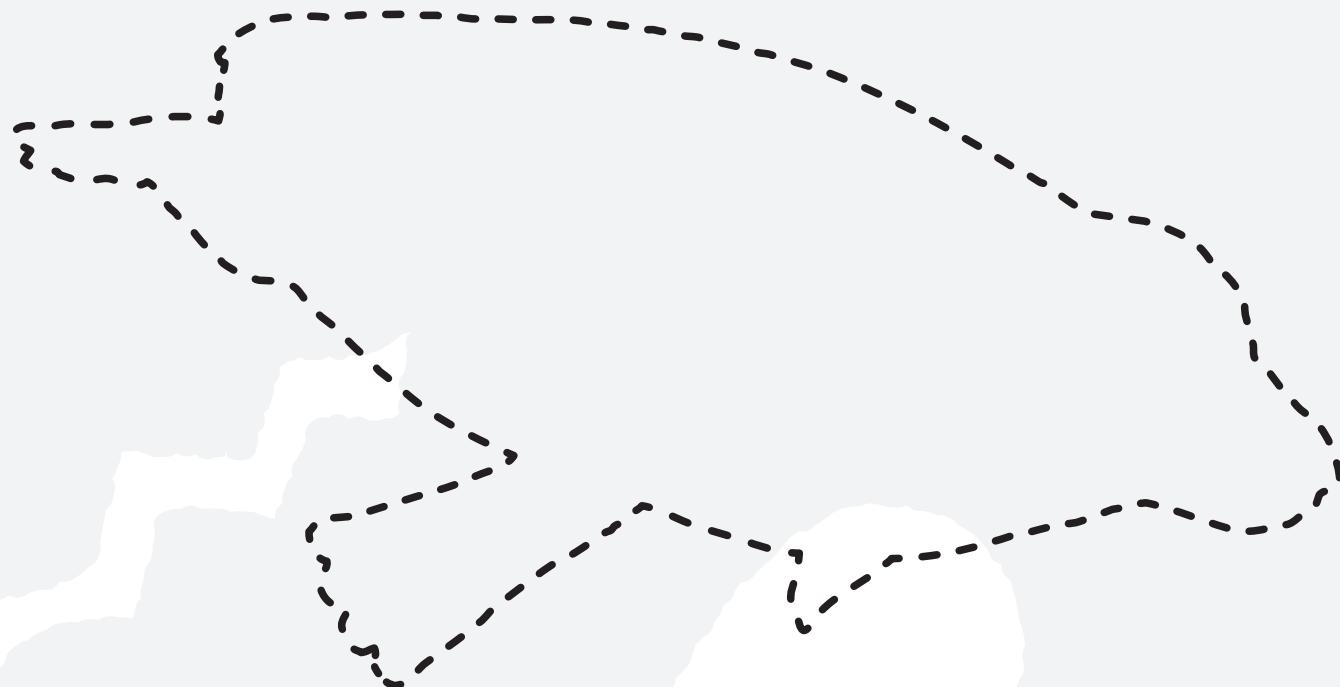
# ステラーカイギュウ

1800年代に発見されたステラーカイギュウ。  
人間を全く恐れない性格であったために  
人間に食べ尽くされ、発見から  
絶滅まで【 】年で、  
あっという間に姿を消した。  
一部には【 】mを越える  
大きなカイギュウもいたが、性格は大人しく、  
仲間の【 】の強い生物だった。



(C) 新村龍也・足寄動物化石博物館

# デスマスチルス



デスマスチルスは今からおよそ【　】万年前～【　】万年前に生息していたと言われている。

【　】でも多くの化石が見つかっているが、いまだ多くの謎に包まれた生物である。

研究者の間でも、シロクマのように【海・陸・両方】、カバのように【海・陸・両方】またはアシカのように【海・陸・両方】に住んでいたのかいろんな意見がある。

一番の特徴は、【　】を並べたような不思議な歯で、何を食べていたのかはっきりしたことはわかっていない。

こんな体ですが、実は【　】が得意だったのでは？という話もある。



本物のデスマスチルスの歯



海遊館

クジラにアシカ・

アザラシ、イルカ・・・

彼らは海に生きてきた哺乳類。

進化をくり返してきた彼らは

地球上のさまざまな場所で

今も暮らしています。

謎の多いデスマスチルス。

もしもデスマスチルスが生きていたら、

彼らはどんな生き方を

していたのでしょうか。